

北海道銀行 電子債権サービス 機能追加一覧

項番	機能名	機能概要
1	一括記録請求のチェック機能	<p>「一括記録請求ファイル」による一括記録請求の結果について、エラーとなったすべての請求の「エラー内容」を還元する機能へ変更となります。</p> <p>今まではエラーが発生した請求のみ「エラー内容」が還元され、その他の請求については「連鎖エラー（正常・エラーに関係なく）」として還元されていました。</p> <p>「一括記録請求ファイル」による一括記録請求の結果について、エラー情報を出力した帳票を画面からダウンロード可能とすることにより、エラー発生時にツールやソフトを介することなく、即座にエラー内容の確認が可能となります。</p>
2	一括記録請求における導入テスト機能	<p>企業ユーザによる「一括記録請求ファイル」について、導入テストを可能とする機能です。本番の仮登録とは別に、導入テストの位置づけとして「テストメニュー」が追加されます。</p> <p>なお、導入テスト機能では「本番取引」時のチェック機能のうち、「取引先情報の妥当性確認（利用制限など）」、「債権の存在確認（譲渡／分割記録の場合）」のチェック観点については、導入テストでの確認は行えません。</p>
3	複数譲渡記録請求（画面入力）機能	<p>企業ユーザによる譲渡記録について、複数債権の仮登録情報を入力し、一度に大量の譲渡記録請求が可能となる機能です。</p>
4	照会機能（開示・取引履歴・通知）における機能改善	<p>開示・取引履歴・通知の照会機能における各画面の改善を図りました。</p>
5	企業ユーザ管理業務における操作性改善	<p>企業ユーザのユーザ管理業務について、仕様の補足説明や業務の導線を考慮した画面遷移にするなど、操作性の改善を図りました。</p>
6	同一通知／宛先のメール集約とメール利用有無設定機能	<p>同一内容のメールに対して送信対象のユーザが複数存在する場合、メールアドレスが同一のユーザについてメールを集約して送信します。</p> <p>また、企業ユーザが受信する各種メールについて、ユーザ毎にメールの「受信要否」が選択可能となりました。</p>